

平成31年度全国高等学校総合体育大会開催基本方針

1 開催のねらい

全国高等学校総合体育大会は、教育活動の一環として高等学校（中等教育学校後期課程を含む）生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図るとともに、高校生活動も含め生徒相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年を育成することを目的とする。

南部九州ブロック（鹿児島県・熊本県・宮崎県・沖縄県）大会開催に当たっては、南部九州4県が連携・協働し、各県民の理解と協力のもと、高校生の積極的な活動を通して、「高校生が輝き 夢と希望を持ち 心に残る」大会を目指し、次代を担う人材の育成と活力ある地域づくりの契機とする。

また、本大会を通じ、平成28年熊本地震からの九州復興の確かな歩みを広く発信するとともに、全国からの支援に対して心から感謝の気持ちを伝え、「つながり」を大切にす大会を目指す。

2 基本方針

(1) 競技力向上とスポーツの普及・振興

本大会の開催を契機に、中・高校生の技能の向上に取り組み、目標の実現に向けた過程の中で創造性やチャレンジ精神を育むとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピックや世界で活躍できるアスリートの育成を目指す。また、県民に夢と感動を与える大会にすることにより、スポーツへの機運を高め、県民の生涯を通じたスポーツの推進、健康増進、体力向上を図るとともに、スポーツを生かした地域づくりを推進する。

(2) 連携・協働の強化

南部九州4県及び関係機関・団体等が緊密に連携・協働し、それぞれの有する機能・特色を最大限発揮し、大会の開催準備・運営に万全を期す。

(3) 高校生活動の展開

高校生が、スポーツを「支える」立場から主体的に大会の準備・運営に携わる中で、様々な交流を通して豊かな人間関係を築き、多くの感動や達成感を味わうことができる大会を目指す。

(4) おもてなしと地域の魅力発信

まごころのこもった温かいおもてなしで全国から訪れる多くの人々をお迎えし、震災からの復興の姿や感謝の気持ちを表すとともに、南部九州4県にある豊かな自然や文化・歴史的景観などの多様な魅力を積極的に発信することにより、来県された人々の心に残る大会を目指す。

(5) 効率的で人と環境に優しい大会運営

南部九州4県及び関係機関・団体等の相互協力のもと、大会を支える組織や施設・設備等、人的・物的資源を最大限に有効活用し、簡素で効率的な大会運営に努める。また、環境美化活動を積極的に展開し、人と環境に優しいクリーンな大会を目指す。